



送付枚数：4枚

多賀城創建1300年事業ことばのアートプロジェクトいよいよ始動

多賀城初開催 奥の細道サミットを開催します

令和5年9月29日

多賀城創建1300年記念事業として、「奥の細道」を通して郷土の歴史・文化の認識と活用を深め、地域の活性化に結びつく活動として、全国の市区町等約40団体が加盟する「奥の細道サミット」を本市で開催します。

また、このサミットの関連事業として、多賀城創建1300年を契機とした俳句、和歌、詩など「ことば」をテーマにしたアートプロジェクトである「奥の細道と多賀城ことばのシンポジウム」を開催します。

今回は、多賀城市在住の俳人高野ムツオ氏の協力のもと、俳句未経験の10代から20代の若者による俳句づくりの挑戦についての話や、高野ムツオ氏に加え、「ことば」に関わる業界で活躍する多彩なパネラーによるパネルディスカッションを行いますので、報道・取材についてよろしくお願ひします。

記

日時：令和5年10月7日（土）15時15分から（開場14時45分）

場所：市民会館大ホール（文化センター内）

その他：同日10時から、市民会館小ホールで第30回「壺の碑」全国俳句大会が開催されます。

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

《問い合わせ》

企画経営部市民文化創造課交流観光係

☎022-368-1141（代表）



多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724・2024

総務部地域コミュニティ課広報広聴係

☎022-368-1141（代表）

令和5年度「奥の細道サミット in 多賀城」実施概要

令和5年9月27日時点

奥の細道サミット概要

奥の細道サミットは松尾芭蕉翁の業績をより一層顕彰するとともに、郷土の歴史・文化の認識と活用を深めて地域の活性化に結びつく活動を展開し、相互の交流を図ることを目的として、奥の細道紀行 300年に当たる平成元年（1989年）の前年（昭和63年）に設立され、本市は平成29年に加盟しました。

サミットの開催内容としては、通常、初日の理事会・総会・交流会、2日目のエクスカージョン（奥の細道関連の史跡等視察）で構成されています。

加盟自治体

加盟団体 38自治体と6団体の合計44団体（令和5年9月1日現在）

▼県内加入自治体

岩沼市、松島町、登米市、大崎市、栗原市、塩竈市、多賀城市
仙台市（令和5年度加入）

令和5年度 奥の細道サミット in 多賀城 スケジュール

時間	内容	場所等
10月7日（土）		
10:00～15:10	第30回壺の碑全国俳句大会 ※壺の碑全国俳句大会実行委員会主催事業	文化センター 小ホール
13:00～13:30	奥の細道サミット理事会	文化センター第3・4会議室
13:50～14:30	奥の細道サミット総会	文化センター第3・4会議室
15:15～17:10	奥の細道と多賀城×ことばのシンポジウム ※多賀城市主催事業 どなたでも参加可能	文化センター 大ホール
18:30～20:00	交流会（奥の細道サミット加盟団体）	
10月8日（日） ※奥の細道サミット加盟団体のみ対象		
9:00～11:30	エクスカージョン	市内の芭蕉ゆかりの歌枕
11:30	多賀城駅 解散	

奥の細道と多賀城

ことばのシンポジウム

-つなぐ、つなげる、ことばのチカラ 俳句編-

とき
10/7 SAT
15:15~
(開場14:45)

ぼくたちは
「ことば」をどれだけ知っているだろうか
「ことば」にどれだけ想いを込められるだろうか

どうか君にも気づいてほしい
ことばのチカラを

ぼくたちから
君たちへ

申し込み不要
世代問わず どなたでも
参加できます

入場無料

ところ

多賀城市文化センター

主催：多賀城市/一般財団法人自治総合センター 後援：総務省



多賀城創建記念
TAKAGI 1300th Anniversary
747-2014

江戸時代、松尾芭蕉は壺碑（多賀城碑）を訪れ、歌枕として詠み継がれてきた碑の実在と、1000年前と変わらない様子を見た感動を紀行文『おくのほそ道』に記しています。芭蕉の俳諧理念「不易流行」が生まれる端緒になったとも言われています。その壺碑には、古代に多賀城が創建された時期（西暦724年）が刻まれていて、多賀城が2024年に創建1300年という歴史的な節目を迎えることを我々に伝えてくれています。多賀城市は、先人が育んだ文化や歴史がこのように「ことば」によって紡がれてきたことに着目し、創建1300年に向かって様々な「ことば」をテーマとしたアートプロジェクトを実施します。今回は奥の細道サミットが多賀城で開催されることを記念し、ことばのシンポジウムを開催します。

俳句や詩など「ことば」の世界で活躍する講師、パネリストが、奥の細道の魅力、俳句や詩に期待すること、「ことば」のチカラを伝えます。

15:15 オープニング「ぼくたちから君たちへ」

15:30 高野ムツオ講演「ことばのチカラ」

16:30 パネルディスカッション
「奥の細道から、現在、未来へ」



出演者プロフィール

講演



高野ムツオ

1947年生まれ。多賀城市在住。日本現代詩歌文学館館長。俳人。俳誌「小熊座」主宰。読売文学賞、蛇笏賞受賞など

パネリスト



西村和子

1948年、横浜に生まれる。1966年、「嬰大俳句」に入会、清崎敏郎に師事。1996年、行方克巳と「知音」創刊、代表。句集『夏帽子』（俳人協会新人賞）『かりそめならず』『知音』（俳人協会賞）『鎮魂』『季節別西村和子句集』『椅子ひとつ』著書『虚子の京都』（俳人協会評論賞）『添削で俳句入門』『季語で読む源氏物語』『俳句のすずめー若き母たちへ』『気がつけば俳句』『子どもを詠う』『季語で読む枕草子』『季語で読む徒然草』。共著『名句鑑賞読本』西の巻・藍の巻、『秀句散策』。俳人協会理事



渡辺誠一郎

1950年 宮城県塩竈市生まれ 俳人佐藤鬼房に師事。「小熊座」同人 句集『余白の轍』『数えてむらさきに』『地祇』『赫赫』『渡辺誠一郎俳句集』 紀行集他『俳句旅枕 みちの奥へ』『佐藤鬼房の百句』 第1回小熊座賞 宮城県芸術選奨（2004年） 第14回俳句四季大賞 第70回現代俳句協会賞 朝日新聞「みちのく俳壇」選者 宮城県現代俳句協会会長



田原（でんげん）

1965年、中国河南省出身。立命館大学大学院文学研究科日本文学博士。現在城西国際大学で教鞭をとる。主な中国語詩集『夢の標点——田原年代詩選』など。日本語詩集『そうして岸が誕生した』『石の記憶』『夢の蛇』『現代詩文庫205 田原詩集』など。訳書に『谷川俊太郎詩歌総集』（22冊）、『松尾芭蕉俳句選』『辻井喬詩選集』『高橋睦郎詩選集』『金子みすず全集』『人間失格』など。編著『谷川俊太郎詩選集1~4巻』（集英社文庫）、博士論文集『谷川俊太郎論』（岩波書店）など。2001年第1回留学生文学賞大賞を受賞。2010年第60回H氏賞を受賞。2013年第10回上海文学賞を受賞。2015年海外華人傑出詩人賞。2017年台湾太平洋第一回翻訳賞など。ほかにモンゴル版、韓国語版の詩選集が海外で出版。2019年『金子みすず全集』が2018年度中国優秀詩集ベストテンに選ばれ、第四回中国長編詩賞受賞



高柳克弘

俳人。1980年、静岡県浜松市生まれ。早稲田大学大学院で松尾芭蕉の発句表現を研究。第19回俳句研究賞受賞。俳句結社「塵」編集長。読売新聞朝刊「KODOMO俳句」選者。早稲田大学講師。2017年度、2022年度Eテレ「NHK俳句」選者。句集に『未踏』（田中裕明賞）、『涼しき無』（俳人協会新人賞）、評論集に『どれがほんとう？万太郎俳句の虚と実』、『究極の俳句』。児童小説に『そのことばが降ってくる——保健室の俳句会』（小学館児童出版文化賞）。

講演進行

NHKアナウンサー
大沼 ひろみ

公式HPは
こちら！

